

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成29年度（2017年度）		授業科目	（学際科目）有機材料化学基礎	
科目基礎情報							
科目番号	0058			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	伊与田正彦・横山 泰・西長亨（2007）マテリアルサイエンス有機化学 東京化学同人						
担当教員	山根 説子						
到達目標							
有機化学の基礎を理解し、有機分子の化学結合の特徴から有機材料（色素、液晶材料、EL素子、導電性高分子、有機磁性体、超分子）の物性の挙動を説明する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	□有機化学の基礎を理解し、有機分子の化学結合の特徴から有機材料（色素、液晶材料、EL素子、導電性高分子、有機磁性体、超分子）の物性の挙動を推定し、説明できる。			□有機化学の基礎を理解し、有機分子の化学結合の特徴から有機材料（色素、液晶材料、EL素子、導電性高分子、有機磁性体、超分子）の物性の挙動を説明できる。		□有機化学の基礎を理解し、有機分子の化学結合の特徴から有機材料（色素、液晶材料、EL素子、導電性高分子、有機磁性体、超分子）の物性の挙動を説明できない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 3							
教育方法等							
概要	有機材料はその多様性から新素材の中心的存在である。化学構造を理解しさらにその物性を推察することは材料開発に重要である。本科目ではマテリアルサイエンスを理解するために必要な有機化学および有機機能材料について学ぶ。						
授業の進め方・方法	授業は講義形式にて行う。						
注意点	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス				
		2週	有機化学の基礎1			s軌道、p軌道、混成軌道、化学結合の性質を説明できる。	
		3週	有機化学の基礎2			有機化合物の書き表し方の種類を説明できる。	
		4週	有機化学の基礎3			分子間力の種類、酸と塩基を説明できる。	
		5週	有機化合物の構造1			構造異性体、立体異性体を説明できる。	
		6週	有機化合物の構造2			有機化合物の分極を説明できる。	
		7週	物性有機化学1			有機化合物の光化学について例を挙げて説明できる。	
		8週	物性有機化学2			励起分子の化学について例を挙げて説明できる。	
	4thQ	9週	後期中間試験				
		10週	有機色素と液晶			有機色素、液晶ディスプレイの原理を説明できる。	
		11週	有機EL素子			有機EL素子の原理を説明できる。	
		12週	有機FET			有機FETの原理を説明できる。	
		13週	有機伝導体			有機伝導体の基礎、導電性分子錯体・導電性高分子の機能を説明できる。	
		14週	有機磁性体			分子内の磁気相互作用、有機磁性体を説明できる。	
		15週	ナノマシン・分子でバイス			超分子化学、炭素材料、巨大分子を説明できる。	
		16週	学年末試験解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	0	60
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20